

2

グリーンITと事業活動に伴うCO₂排出量削減で低炭素社会の実現に貢献



OKIの「Webセンシング」をはじめとするグリーンITは、オフィスのCO₂排出削減に貢献します。

低炭素社会の実現に向けて

地球温暖化および気候変動問題は、人類共通の問題であり、その顕在化・深刻化を受けて、解決に向けた枠組みがグローバルに議論されています。経済的發展を続ける中国を含め、温室効果ガス主要排出国の削減目標の設定に向けた交渉が続けられているほか、削減目標を達成するための資金支援、技術提供、能力向上支援策(キャパシティビルディング)などを含めた幅広い対策が進められています。

こうした流れのなか、日本では省エネルギー法^{*}が改正され、2010年4月から事業者単位での報告が求められるようになったほか、都道府県単位でも関連法規制の強化・整備が進められています。一方、製品の省エネルギー規制においても、トップランナー方式に基づく新たな基準制定が予定され、国際エネルギースタープログラムでは認証方式が強化改正されるなど、製品使用時を含め社会全体で温室効果ガスの排出削減をめざす低炭素社会の実現に向けた動きが加速しています。

OKIグループは、気候変動問題への対応や低炭素社会の実現を重要なテーマとして位置づけており、ITに深く関わってきた企業グループとして、「ITの省エネルギー(Green of IT)」、「ITによる社会の省エネルギー(Green by IT)」を進めるグリーンITに積極的に取り組むとともに、省エネルギー活動に

も注力しています。また、2011年3月に発生した東日本大震災の影響による電力供給力不足や被災地の復興計画などに合わせ、OKIグループ一丸となって活動を推進しています。

^{*} 省エネルギー法：エネルギーの使用の合理化に関する法律。

ITの省エネルギーの推進

本格的なIT化に伴い、IT機器の数が大幅に増加しているため、IT機器自身の省エネルギーが重要な課題となっています。OKIグループは1998年から製品の設計段階において旧モデルなどと比較し、製品の環境アセスメントを開始するなど、製品の低消費電力を進めてきました。また2000年度には、製品の省エネルギー効果などを明確にしたOKIエコプロダクツ社内認定制度を導入し、認定された製品や認定基準はウェブサイトで公開しています。2010年度は省エネルギー規制や標準への適合性を考慮した認定基準の見直しを開始しました。

ITによる省エネルギーの推進

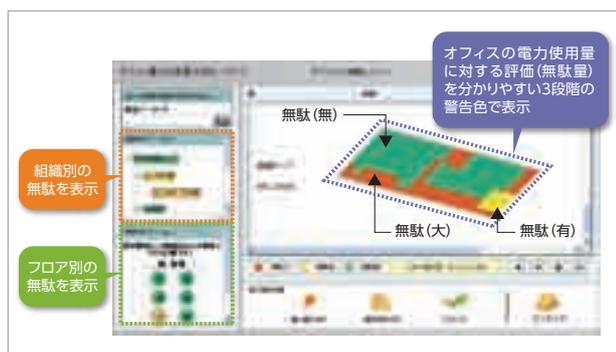
ITを利用した省エネルギーは、輸送やオフィスなど幅広い分野での導入とその効果が期待されており、社会全体のCO₂

削減に貢献するものとして、積極的に推進されています。

OKIグループも、ネットワークを活用してオフィスにあるPCなどIT機器の省電力を図るITエネルギー管理システム「CoolClover」と、センサネットワークを活用してオフィスなどの環境情報(温湿度、電力量など)を計測し、収集したデータをインターネット上のサーバで提供する「Webセンシング」を2009年から提供しています。

これらに活用しているセンサネットワークという「モノの情報を集めてくる技術」と、状況推定という「センサのデータから状況を判断する技術」は、さまざまな分野での利用が可能であると考えています。現在、電力計なしでIT機器の動作状況から消費電力を推定し表示する「リアルタイム電力モニタリングシステム」や、オフィスフロアのレイアウト上に電力使用量の「見える化」を実現する「オフィス電力使用量可視化システム」の開発などに取り組んでいます。前者は消費電力の削減だけでなく、社員の在席状況などオフィスの電力使用量の分析結果から電力使用量を予測することで、効率的な省エネルギー活動を可能にします。また後者はオフィスにおける電力消費の無駄が多いエリアを「見える化」し、社員の省エネルギー意識を啓発することで、削減効果があることが検証されました。省電力システムの早期の実現が求められるなか、こうした技術の商品化にも注力していきます。

● オフィス電力使用量可視化システムの概要



事業活動における取り組み

OKIグループは、商品やサービスに関する省エネルギー(グリーンIT)と同時に、低炭素社会の実現に向けた取り組みとして、自らの事業活動に伴い発生するCO₂などの温室効果ガスの排出量を抑制することを方針としています。

OKIグループは京都議定書の第一約束期間の目標達成に向け、電機・電子業界の自主行動計画の目標「実質生産高CO₂原単位*」を2010年度までに1990年度比35%以上改善に向けて活動し、2010年度の実績は66.1%改善と、目標を大幅に達成しています。また改正省エネルギー法への対応とともに、カーボン・オフセットによるCO₂排出量ゼロ工場の実現、生産改革の推進、インフラ設備更新など、地球温暖化防止に向け、さまざまな取り組みを展開しています。

地球温暖化および気候変動問題は、長期的な視野で取り組まなければならない課題です。OKIグループは今後も、商品と事業活動の両輪で取り組んでいきます。

● CO₂排出量推移(OKIグループ国内主要拠点)



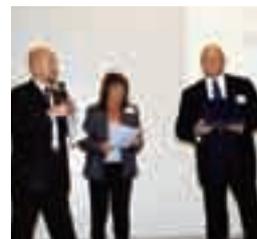
* 実質生産高CO₂原単位：CO₂排出量/実質生産高(実質生産高=名目生産高/日銀国内企業物価指数(電気機器)1990年度を1とした時の各年の比率)

Column

LEDプリンタ・複合機で「エコ・ハイテク商品賞」を受賞

OKIデータは、2011年2月、イタリア共和国の環境コンソーシアムが選ぶエコ・ハイテク賞2010において、同国で7月に発表したプリンタや複合機の新商品合計16機種に対し「エコ・ハイテク商品賞」(Prodotti Hi-Tech Eco-Virtuosi)を受賞しました。同賞は、イタリア共和国におけるオフィス機器などを調査研究し、環境に優しい商品进行评估しているコンソーシアムが、環境に配慮した商品やソリューションを開発したIT企業を表彰しているもので、1998年から続いています。

OKIのA4カラーLEDプリンタとA4カラーLED複合機は、省エネルギーを目的とした独自開発の集積回路「Green ASIC」搭載によりスリープ時の消費電力を大きく低減したほか、両面印刷に標準対応し、電力や紙の節約に貢献しており、こうしたことが高く評価され、今回の受賞となりました。



表彰式の様子